



# 遙かなる物語が 語られるとき。

伊達藩の武将たちも臨んだこの桑折の地。  
沿革として記録に残される事柄を含め、  
町は長い時間を経て歩み続けてきました。  
ゆっくりと、そして確実に…。



半田銀山遺跡



西山城跡



側室の館に通じていたという化粧道



西館石塁

名将・独眼竜正宗を生んだ伊達氏の姓は、この伊達地方が由来。なかでも桑折は伊達氏の居城・西山城があった町で、伊達藩にゆかりの深い土地です。また、かつては日本三大鉱山のひとつと称された半田銀山は、幕府の直営の御直山として隆盛を極めました。遺跡や地名からも、この地が半田銀山と深くかかわっていたことが伺えます。こうしてはるか昔に思いを馳せれば、それぞれの時代にそれぞれの歴史の足跡があり、今なお幾世へと引き継がれています。そして、これからもとどまることなく、毎日新しい1ページを刻んでいくことでしょう。